

伝える、つなげる、適正価格を考える「食と農の魅力旅」

適正価格が持続可能な農業を創る

【活動グループの紹介】

静岡県立磐田農業高等学校は、明治29年に設立され、129年の伝統を持つ農業高校です。

参加グループ「食と農の魅力旅プロジェクトチーム」の皆さんには地域の課題を解決するプログラム学習という授業の一環で集まっている、高校3年生です。活動は先輩から引き継がれ、魅力旅の活動としては今年で3年目になります。『生産者と消費者』『食と農』『農と文化』を繋げる「食と農の魅力旅」を実施しています。第76回関東地区学校農業クラブ連盟大会において、最優秀を受賞し、全国大会での1位を目指しています！

[トップページ](#) | [磐田農業高校](#) ←学校の詳細はこちらから！

【取組の紹介】

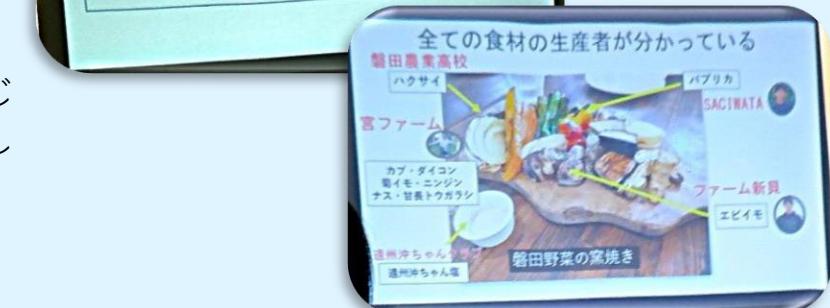
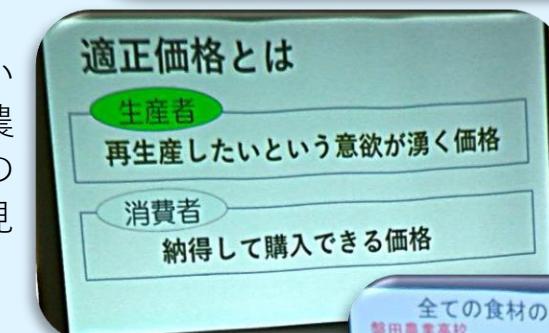
今年度は、「みんなが幸せになるお米の適正価格を考えよう」というテーマのもと、全4回の体験講座を開催しています。この「食と農の魅力旅」のモットーは“繋がることで人は元気になる”です。毎回の活動は、米作りの農体験、ジビエや世界灌漑施設遺産の寺谷用水の見学等の文化を学べる、地元食材を使用した食事が楽しめる、「食・農・文化」を考えられる内容となっています。

企画段階では、生徒自ら地元の農家さんにお話を聞き、体験を通じてその魅力を参加者に伝えることで、消費者の意識・行動変容を促しています。また、生徒同士で役割分担を行い、行程の企画から経理、当日の進行まで、運営全般を担っています。

[食と農の魅力旅 Instagram](#) ←グループの公式Instagramはこちらから！

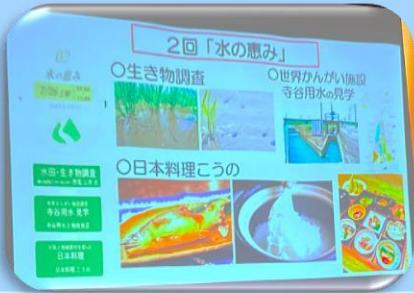
グループ名

食と農の魅力旅
プロジェクトチーム
(静岡県立磐田農業高等学校)



Q1 どんなメンバーで活動していますか？

3年生の同じクラスのメンバーで活動しています。全体リーダー、説明担当、会計など、それぞれ担当を持って役割分担をして進めています。魅力旅の活動は3年目で、先輩から後輩へ受け継がれています。



食と農の魅力旅プロジェクト
チームのみなさんに聞きました！



目指せ！
全国大会最優秀！！

Q3 開催するための工夫は？

参加費が高い事や旅行業法にどうやって対応するかという課題がありましたが、移動手段の再検討を行ったり、磐田市・観光協会との連携を強化することで、無事定員を満たす申し込みをいただくことができました！



Q2 特に楽しかったことと大変だったことは？

実施後のアンケートで、「理解度が上がった」「また参加したい」など、高い評価を頂けたことがモチベーションになりました！
ただ、スケジュールを分単位でしっかり詰めておかないと、当日スムーズに進まないので、スケジュールの調整が大変でした。



Q4 今後の展望は？

まずは農業クラブ連盟大会の全国大会で1位を取ることと学チャレの全国大会でも1位を取れるように頑張ります！
来年以降も続けていくつもりで、来年は袋井市にも取組を広げていきたいと考えています。



取材を終えて

学生との交流の後、西尾先生に校内をご案内いただきました。大正14年に手掘りで作られたという50メートルのプールや、かつて防空壕だったというみかん山、そして学校創立100周年記念事業として整備されたバラ園などを見学させていただき、学校の歴史の重みを肌で感じることができました。

今回お話しした食と農の魅力旅プロジェクトチームの皆さんはもちろん、校内で作業していた生徒さんたちも、すれ違うたびに元気に挨拶してくれました！玄関にはたくさんの賞状やトロフィーが並んでいて、日頃から熱心に取り組んでいる様子が伝わってきました。学校全体が明るくて前向きな雰囲気で、生徒さんたちがのびのびと活動しているのが印象的でした。

現地交流会への取材対応ありがとうございました！

一般に向けて開催されている「食と農の魅力旅」について、生徒の皆さんのが構成から細かい内容まですごく考えているんだなということが伝わってきました。

これからの活動も応援しています！！



校内で飼われ
ている羊さん
かわいかった
です

